令和５年度 第２回ふるさと館運営協議会顛末

日　時：令和 5 年 11 月 21 日（火）午後 4 時 00 分～4 時 50 分
場　所：飯山市ふるさと館　体験室
出席者：千坂経悦、武田 誠、日台智子各委員
　　田中文化振興部長、事務局 4 名
欠席者：木原利幸、森本浩正各委員
進　行：藤木係長

１　開　会
（藤木係長）令和 5 年度、第 2 回運営協議会を開会します。

２　あいさつ
（千坂会長）雪の季節になった。開催中の「瞽女展」。若い頃見た、画家斉藤真一さんの哀愁漂う絵が印象に残っている。こちらに移り住んで以降、地域で「瞽女」の話をよく聞いた。長野市の杉山さんを介して寄贈いただいた資料とのこと、地域の歴史を継承していくふるさと館の役割としても、たくさんの方々に見てもらいたい。
（田中部長）セカンドスクールの増加など、コロナ前に戻ってきたように感じる。9 月頃から取り組んでいる「御城印」頒布についても好調で、今後もコンスタントに事業をすすめていきたい。皆さまのご意見を宜しくお願いします。
３　協議事項（進行：千坂会長）
　① 令和 5 年度 10 月末までの事業報告について
（事務局）資料に基づき説明

（進　行）質問等ありますか。
（会　長）セカンドスクールはコロナ前の人数に戻った感じですか。
（事務局）戻ったことを実感しています。
（会　長）交流活動面も復活してきているということですね。
　　講座講師の市民学芸員の皆さんには報酬を支払っているのですか？
（事務局）はい。1 回につき 4,000 円支払っております。
（会　長）飯山高校でも伝統工芸という単元があって、飯山仏壇の彫刻・蒔絵・彫金や手漉き和紙をやっていきたいのだが、ふるさと館で行っている「しめ縄」「わらぐつ・わらぞうり」なども導入してもいいのかなと思った。でも県の予算があまり無い。市のほうから無償で派遣してもらうことはできるのか。
（事務局）「ふるさと館市民学芸員」の方々を紹介することはできる。直接、学校側から交渉いただくなり、やり取りを行ってほしい。

（会　長）今の高校生や若い人々は「わら」に触れることがほとんどない。実際触らせてあげる機会も大切。

（委　員）高校生もぜひふるさと館へ足を運んでもらいたい。講座もあることなので。今のご時世、地区のどうろくじんへの縛ったわらの供出も、わらで縛るんじゃなく、ビニールひもで縛ってくる。たぶん縄ないも出来ないのだと思う。

（会　長）確かにここまで連れてこられれば一番いい。先日、飯山高校より３クラス、美術館開催の写真展を見学に来た。市バスを手配してもらった。バスのおかげで、１時間の授業で往復＋見学が成り立った。でも、ふるさと館で体験となると１時間で完結させるのは難しい。

（事務局）触ってみるとか少し体験してみる程度なら１時間に収めることはできる。

（会　長）今回の美術館見学、美術館に入るのが初めてという生徒も多く、有意義だった。

（事務局）ふるさと館も、まずはどうやって知らせていくかが課題。

（会　長）足を運んでもらうまえに、中学生以上は日々なかなか時間が取れないという課題が。

（委　員）（小学校の場合）ただ「ふるさと館へ行きましょう」では、学校の授業カリキュラムにそぐわない。子供たちも、ただ行くことが目的になってしまう。クラスの活動に合わせて（出張講座等を）やっていただけるとありがたい。報告にある飯山小２年２組の「糸取り体験」は子供たちが「綿」を栽培したのですか。

（事務局）「綿」ではなく、「蚕」を育て絹糸を取る体験です。

（委　員）クラスの取り組みとリンクしている。今後もぜひ学習の手助けを。

（事務局）小学校３年生になると生活科で「昔の道具」という単元がある。また６年生では、古代からの地域の歴史を学ぶ単元も。ふるさと館でもそういった授業において「実物を使った学習」を提供できると思う。昔の道具では、たらいと洗濯板を使った昔の洗濯から、初期の洗濯機、それが今の全自動洗濯機への流れ。火のし→炭火アイロン→電気アイロンなどもそう。ここへ来ると、教科書に沿ったその流れがみられる、というふうに活用いただければ。

（会　長）秋津小クラブで行った「和紙うちわ」とはどんなものか。

（事務局）稲田紙店から提供いただいた「和紙」等を使い内山紙の特性を生かしながら制作してもらった。竹製のうちわの骨も美術館から無償で譲り受けたもの。

（会　長）今週生徒と和紙体験に和紙工房を訪ねる。手漉き体験のあと和紙ランプや凧を作る予定。竹の骨など買うとなかなか高いが大事な体験かと。

② 令和６年度ふるさと館事業計画

（事務局）資料に基づき説明

（進　行）質問やご意見・ご提案などありますか。

（会　長）わらの会は何人くらいいるのか。

（事務局）30 人くらいいるが、実際精力的に動いているのは 10 人くらい。

（会　長）どんなものを作っていますか。
（事務局）米俵などさまざまで、年代も中学生からです。
（会　長）民芸品なんかも面白いのでは。上越の「おんまさん」のような。温井の衆もまだやっているのですか。
（事務局）やっているようです。
（会　長）会でいろいろ取り組むことが励みになると思う。

（委　員）企画展で、去年話に出た小学校の統合の展示は？
（事務局）当初は来年度に行う予定にしていたが、美術館と足並みをそろえる関係で、統合して、令和７年の９月くらいに美術館をメイン会場に開催する予定です。
（委　員）そのとき展示するのは、学校にあるものではなくふるさと館や美術館にあるものですか。
（事務局）両方になると思う。学校にある絵や民俗資料なども。泉台小に民俗資料室はありますか。
（委　員）ない。
（委　員）旧外様小にたくさんあったが。
（事務局）それらは旧三中へ移動し、その後五郷分校へ。
泉台小に「青い目の人形」あると思うが、そういったものはぜひ展示したい。
（委　員）去年事務局に話したが、旧柳原小にあった「奉安殿」。今、笹川の堀川まさゆきさんのところにある。まさゆきさんのおじいちゃんが用務員さんをやっていた関係で残されている。このまま廃棄ではもったいないということや、ひとつの歴史として展示できるのでは。
（事務局）美術館がメインなので、美術館で決めてもらわないと。
（委　員）７月の野焼きは暑くないですか。
（事務局）確かにこのところの気象では心配なので安全な時期を考慮したい。
（委　員）今くらいのほうがいいのでは。
（委　員）笹もちの日程も早すぎないですか。
（事務局）考慮していきたい。

４　その他
（任期の件）
（Wi-Fi／キャッシュレス決済の件）
（瞽女展）

５　閉　会
（部　長）それでは、これで第２回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。